

子どもも親も笑顔がこぼれる社会へ

働く母親が、保育園を理解するために… 保育園が、働く母親を理解するために…
望ましい“子育て・子育て”支援とは？

働く母親が求める “子育て・子育て”支援と課題

諏訪 きぬ
東社協保育部会 編著

諏訪きぬ・東社協保育部会／編著

働く母親が求める “子育て・子育て”支援と課題

保育園での“子育て・子育て”支援は、“働く母親の生命線”。親子を支える保育園は、予算削減に悲鳴をあげながらも日々全力投球しています。本書は、親と保育園が協働し、笑顔こぼれる時間や空間を創り出すための提案です。

21×15cm 200ページ 定価1,575円(税込)

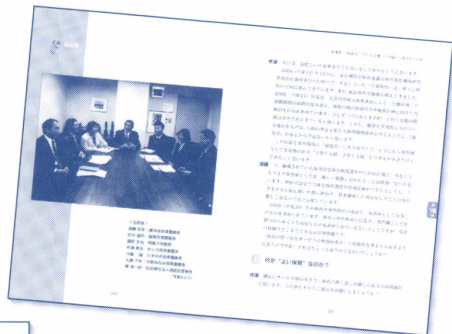
10742

働किながら子どもを育てている

母親へのエール！

働く母親を支える保育者や

社会全体への篤いメッセージ！



CONTENTS

はじめに

第Ⅰ章 子育てと仕事の両立は簡単じゃない

第Ⅱ章 園が親を支えるということ

第Ⅲ章 働く母親が子育てについて思っていること

第Ⅳ章 働く母親が保育園に望んでいること

第Ⅴ章 働く母親が望む子育て支援

第Ⅵ章 少子化対策・子育て支援策と保育園

第Ⅶ章 〈検証〉保育園が子育て支援の場としてあり続けるために

第Ⅷ章 〈座談会〉“子ども支援”の立場から発言すべき時

第Ⅸ章 親と子どもを支える子育て支援

おわりに

保育園は子どもの生命線

——子どもと親の両方にとって——

1. 矢野 浩

「保育園は子どもの生命線」といわれる。それは、子どもにとっての生命線であると同時に、親にとっての生命線でもある。保育園は、子どもと親の両方にとっての生命線である。

「保育園は子どもの生命線」といわれる。それは、子どもにとっての生命線であると同時に、親にとっての生命線でもある。保育園は、子どもと親の両方にとっての生命線である。

「保育園は子どもの生命線」といわれる。それは、子どもにとっての生命線であると同時に、親にとっての生命線でもある。保育園は、子どもと親の両方にとっての生命線である。

「保育園は子どもの生命線」といわれる。それは、子どもにとっての生命線であると同時に、親にとっての生命線でもある。保育園は、子どもと親の両方にとっての生命線である。

「保育園は子どもの生命線」といわれる。それは、子どもにとっての生命線であると同時に、親にとっての生命線でもある。保育園は、子どもと親の両方にとっての生命線である。

「保育園は子どもの生命線」といわれる。それは、子どもにとっての生命線であると同時に、親にとっての生命線でもある。保育園は、子どもと親の両方にとっての生命線である。

キンダーブックの
フレール館

くわしくはフレール館代理店・特約店・支社・支店・営業所または本社営業総括部 (03) 5395-6608にお問い合わせください。